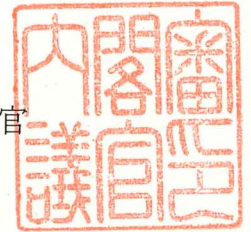


文部科学省大臣官房国際課長 殿

内閣官房領土・主権対策企画調整室内閣審議官



## 領土・主権展示館の移転に係る周知について（依頼）

北方領土及び竹島をめぐる領土問題並びに尖閣諸島をめぐる情勢について、我が国の立場に関する正確な理解が広く国民に浸透するよう、次代を担う若い世代の関心を高め、正しい理解を深める取組を推進することが重要な課題になっています。

内閣官房領土・主権対策企画調整室では、我が国の領土・主権に関する事実や我が国の立場に関する正確な理解を国内外に浸透させていくための発信拠点として、平成30年1月25日に開館した「領土・主権展示館」について、今般、拡張移転し、令和2年1月21日（火）に新規開館することとしました（別紙1及び2参照）。

ついては、このことについて、貴職から各都道府県・政令指定都市教育委員会等に周知してくださるようお願いいたします。

連絡先：内閣官房領土・主権対策企画調整室  
田村 卓也、森 麻衣子  
電話：03-5253-2111（内線 82252）  
E-mail：takuya.tamura.d6s@cas.go.jp  
maiko.mori.x5z@cas.go.jp

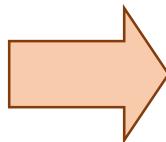
- 1 名称  
領土・主権展示館
- 2 所在地  
東京都千代田区霞が関 3－8－1 虎の門三井ビルディング 1 階
- 3 新規開館日時  
令和 2 年 1 月 2 1 日 (火) 1 0 時
- 4 開館時間  
1 0 時～1 8 時
- 5 休館日  
月曜日 (月曜日が祝休日となる場合はその次の平日休館、年末年始 (1 2 月 2 9 日から 1 月 3 日))
- 4 最寄り駅  
東京メトロ銀座線「虎ノ門駅」徒歩 1 分／東京メトロ丸ノ内線・日比谷線・千代田線「霞ヶ関駅」徒歩 5 分
- 5 電話番号  
0 3－6 2 5 7－3 7 1 5

## 領土・主権展示館の経緯・趣旨

我が国の領土・主権に関する事実や我が国の立場に関する正確な理解を国内外に浸透させていくための発信拠点として、平成30年1月25日に日比谷公園内の市政会館地下1階に開館。

## 現展示館の課題

- ・展示館が地下で分かりづらく、手狭(約100m<sup>2</sup>)。
- ・原則、平日開館(第3土曜日のみ臨時開館。)
- ・北方領土や領海等に関する展示の不足。
- ・相手国の主張とそれに対する反論の不足。
- ・分かりやすい展示(当時の生活道具等)の不足。



## 展示館の移転

年明け、「虎の門三井ビルディング」の地上階へ拡張移転。

- ・虎ノ門駅から徒歩1分。国会議事堂からも徒歩10分。
- ・1階・2階合わせて約700m<sup>2</sup>。外堀通り沿い。駅等へ看板を設置。
- ・土日祝日も開館(月曜日閉館。)
- ・北方領土や領海等についても展示を充実。最新技術も駆使。

## 移転後の展示館の基本的位置づけ

①**正確な事実**に**立脚**して、②**論理的に展開**し、③**普遍的な(誰にでも理解される)主張**に基づいたストーリー性のある情報発信を一層強化していく。

## 移転後の展示館のコンセプト

「深化した」、「体感的な」、「広がりを持った」展示館

## 深化した発信

- これまでの展示に加え、北方領土等に関する展示を充実させる。
- 日本の領土について、領有根拠とともに、日本政府の基本的な考え方や関連施策等を幅広く解説し、日本について学べる場にする。
- 客観性のある証拠資料とともに、他国の主張とそれに対する反論を交え、図表を多用してわかりやすく解説し、自分で考えて理解し学べるようにする。
- ウェブを通じて、展示内容と連動した更に深い内容の解説を提供し、理解・関心の連鎖を誘発する。

## 体感的な発信

- 映像、プロジェクション・マッピング、ジオラマ、拡張現実(AR)等を駆使し、当時の島民の生活の様子や、漁業などの経済活動、現在の島を取り巻く状況等について、臨場感溢れる展示を行う。
- 専門家による講演会の開催に加え、元島民等の語り部の方々等の講演会や、企画展、定期的な展示替えを実施する。

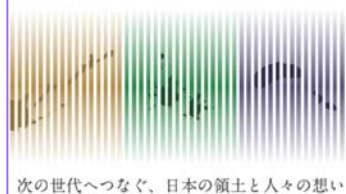
## 広がりを持った運営

- 地方自治体(特に北海道、島根県、沖縄県等の地元自治体)、関係機関(日本国際問題研究所、全国の公文書館、博物館等)、専門家等との連携や協力を緊密に行い、その中でハブ機能を十全に発揮する。地方機関との展示・イベント協力や、地方巡回展等も積極的に実施する。
- 全国の教育委員会や学校と連携し、学校教育にも活用してもらう(社会科見学等)。外国人への対応も充実させる。

## キービジュアル

## 領土・主権展示館

NATIONAL MUSEUM OF  
TERRITORY AND SOVEREIGNTY



## 今後のスケジュール

- ・令和2年1月20日(月)開館式(17:00~)
- ・令和2年1月21日(火)正式開館(一般公開を開始)



# 常設展示のレイアウトと主な展示内容

## 尖閣諸島等



- ・ **明治期**の領土編入経緯、戦前までの日本人の活動や地制、登記等の行政管理の実態
  - ・ **米国施政下**における尖閣諸島の地理的認識
  - ・ **魚釣島等の映像**
  - ・ 中国の主張に対する**反論**、領海侵入等の**現状**
- 等について動画、ジオラマ、資料レプリカ等を活用して紹介。

## 竹島



- ・ **江戸時代**以降の日本人の活動（アシカ漁等）の様子
  - ・ **明治期・戦前**における島根県編入、地制、漁業許可等の行政管理の実態資料
  - ・ **サンフランシスコ平和条約起草**時の竹島に対する認識
  - ・ 韓国の主張に対する**反論**、不法占拠の**現状**
- 等について動画、ジオラマ、資料レプリカ等を活用して紹介。

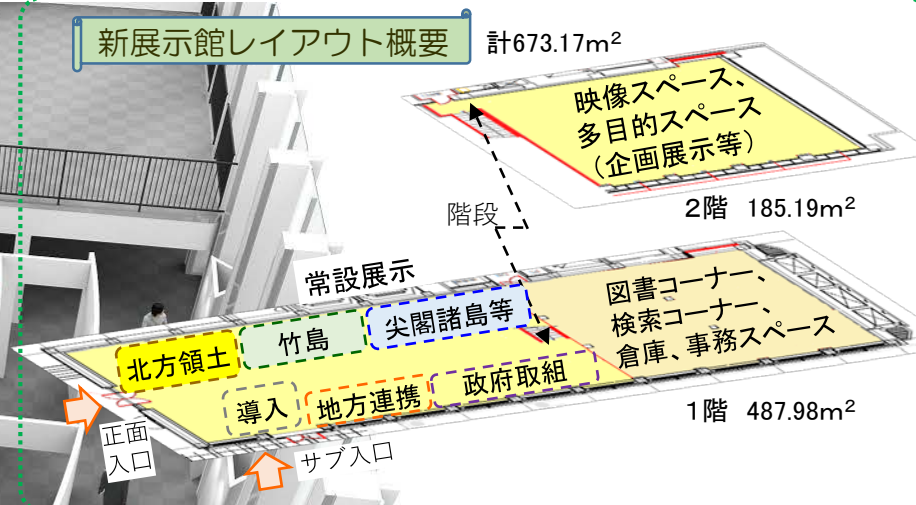
## 北方領土



- ・ **戦前**の北方領土における島民の生活
  - ・ **ソ連侵攻**（日時・場所等）
  - ・ 日本とソ連・ロシアとの外交交渉、**首脳外交**
- 等について、元島民の生活物品や**プロジェクション・マッピング**等を活用して紹介。

## 新展示館レイアウト概要

計673.17m<sup>2</sup>



## 共通スペース

**政府の関連取組**（関係プレスリリースなど）等について紹介。  
**全国の関係施設等**について、日本地図上で紹介。ポスター掲出やリーフレット設置を実施。  
 吊下げスクリーンにて日本の**領海**や**EEZ**等、展示館の設置趣旨等を紹介。  
 広い展示スペースとデザイン性の高い内装を両立。

正面入口



# (参考)領土・主権展示館の移転先

## 虎の門三井ビルディング

- 住所: 東京都千代田区霞が関3-8-1(外堀通り沿い)
- アクセス: 銀座線虎ノ門駅(3番出口)徒歩1分  
国会議事堂から徒歩10分程度以内
- 面積: 1階・2階計で約700m<sup>2</sup>



### ビル概観



移転先については、  
令和元年5月7日に公表済

### 外堀通りに面した入口(現状)

